



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1377 2023 年 10 月 30 日

ARIB からのお知らせ

10 月は「受信環境クリーン月間」です

受信環境クリーン中央協議会では、例年 10 月 1 日から 10 月 31 日までの間を「受信環境クリーン月間」と定め、放送電波受信障害防止に向けた集中的活動を実施しています。会員の皆様も電波障害の防止になお一層のご協力をお願いします（詳細は ARIB ニュース No.1369 2023 年 9 月 4 日を参照ください）。

ARIB の動き

CEATEC2023 「5G スペシャルデー V」の開催概要報告

CEATEC2023 「5G スペシャルデー V」が 10 月 18 日（水）の午前／午後 2 部構成にて、幕張メッセのコンベンションホール B においてオンライン併用により開催されました。

午前の部では、ローカル 5G 普及推進官民連絡会、一般社団法人情報通信ネットワーク産業協会（CIAJ）、一般社団法人電波産業会（ARIB）、第 5 世代モバイル推進フォーラム（5GMF）の共催により、「ローカル 5G 利活用 2023 ワークショップ」が、午後の部では、総務省、5GMF、ARIB の共催により「5G の最新動向 2023 国際ワークショップ」が開催されました。

1 日を通じて、532 名の会場参加、並びに 300 名を超えるオンライン視聴がありました。アーカイブ配信については 10 月 31 日（火）までご視聴いただけます。

（URL：<https://www.ceatec.com/ja/>）

1. コンファレンス内容

午前の部：「ローカル 5G 利活用 2023 ワークショップ」

テーマ：「利活用の広がり」と課題、今後の展望」

前半：講演「ローカル 5G 利活用の最前線」、「開発実証成果報告」他

後半：パネル討論「本音で語ろうローカル 5G の現状と展望（第 3 回本音シリーズ）」

登壇者：大山りか氏（ON BOARD）、森川博之氏（東京大学）、

内田雄一郎氏（総務省）、門野貴明氏（NTT 東日本）、

高橋義隆氏（首都高速道路）、浅野智計氏（トランスコスモス）、

中川公士郎氏（九州電力）、中本朱音氏（大森クローム工業）

午後の部：「5G の最新動向 2023 国際ワークショップ」

前半：講演「ミリ波の導入の国際動向及び日本の取組」

後半：パネル討論「ミリ波利用の課題と今後の展望について」

登壇者：関口和一氏（MM 総研所長）、

中村武宏氏（ミリ波普及推進アドホック主査（NTT ドコモ）、

Dr. HyeonWoo LEE（DanKook Univ.）、Mr. Ozge Koymen（Qualcomm）、

Mr. Christopher Price（Ericsson）、Mr. Niels König（5G-ACIA）、

舘林俊平氏（KDDI）

2. 開催概要

冒頭、5GMF 会長の吉田進氏からの主催者代表挨拶に続いて、総務省総合通信基盤局電波部長の萩原直彦氏から来賓挨拶がありました。



5GMF 吉田氏



総務省 萩原氏

(1) 午前の部：「ローカル 5G 利活用 2023 ワークショップ」

冒頭、CIAJ 常務理事の石井義則氏による開会挨拶ののち、6 名の方からのご講演に続いて、大山氏、森川氏をそれぞれモデレータ、コメンテータに迎えパネル討論が行われました。



CIAJ 石井氏



総務省 内田氏



NTT 東日本 門野氏



首都高速道路 高橋氏



トランスコスモス 浅野氏



九州電力 中川氏



大森クローム工業 中本氏

モデレータからの「実際、儲かっているか？、苦労点は？、課題は？、採用されている分野は？」等の問いに対し、パネリストから「価格に拘ったサービスで導入件数は増」、「iPhone のローカル 5G 対応が採用の決め手」、「費用対効果の改善とローカル 5G の必然性についての判断が必要」、「キラーアプリは未発見」、「インフラとソリューションセットで課題解決」、「製造業、モビリティ関係の採用が増加」などの活発な議論があり、「昨年あたりから光が見え始め、ようやく導入の価値を考えられる段階」、「継続により必ず進化、チャレンジで明るい未来を」とのコメントがありました。

最後に ARIB 理事の西岡誠治より閉会挨拶がありました。



パネル討論の様子

左から森川氏、大山氏、中本氏、中川氏、浅野氏、高橋氏、門野氏、内田氏



東京大学 森川氏（左）、
ON BOARD 大山氏（右）



ARIB 西岡氏

(2) 午後の部：「5G の最新動向 2023 国際ワークショップ」

吉田会長による開催挨拶に続いて総務省総合通信基盤局電波部移動通信課長の小川裕之氏から基調講演がありました。



5GMF 吉田氏



総務省 小川氏

基調講演に続いて、6名の方より、日本、並びに欧米韓におけるミリ波導入の最新動向について講演がありました。



NTT ドコモ 中村氏



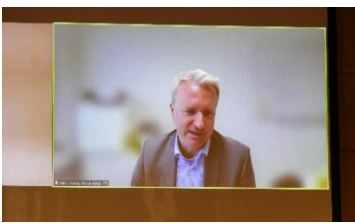
DanKook Univ.
Dr. HyeonWoo LEE



Qualcomm
Mr. Ozge Koymen



Ericsson
Mr. Christopher Price



5G-ACIA
Mr. Niels König



KDDI 館林氏

講演ののち、モデレータに関口所長を迎え、「ミリ波利活用に向けた課題と今後の展望」をテーマにパネル討論が行われました。国内外のミリ波普及のためには、産業用途、エンターテインメントやモビリティなどのユースケースを国際協力で広げていくことが必要との議論が行われました。



MM 総研 関口氏



パネル討論の様子

上段：中村氏、Mr. Niels König

下段：左から 関口氏、Dr. HyeonWoo LEE、Mr. Ozge Koymen、Mr. Christopher Price、館林氏

最後に 5GMF 事務局長の 大村好則氏より、全ての関係者への謝辞とともに、今後の世界のミリ波普及の伸びしろが大きく条件が揃えば飛躍的なビジネスの発展が期待されるとのメッセージがあり、また 5GMF は来年 3 月に活動を終結し、4 月からは Beyond 5G 推進コンソーシアムと一体化する予定であり、CEATEC2024 へは新体制での参加を期待しているとの閉会挨拶がありました。



5GMF 大村氏

第 29 回 ITS 世界会議蘇州 2023 が開催される

10 月 16 日（月）から 20 日（金）まで、蘇州市政府、江蘇省交通運輸庁、中国交通運輸部公路科学研究院主催の第 29 回 ITS 世界会議が Suzhou International Expo Center において開催されました。今回は「DRIVING TOWARDS INTELLIGENT SOCIETY – Quality Life」をテーマに、世界各国から ITS 関係者や政府関係者が集まり講演と展示が行われました。

ARIB が事務局を務める ITS 情報通信システム推進会議(以下 ITSF)は、ジャパン・パビリオン内に展示ブースを出展し、日本における活動状況を紹介するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットの配布を行い、ITS 関係者から高い関心が示されました。

【開催概要】

- ・開催期間 2023 年 10 月 16 日（月）～20 日（金）
- ・参加者(登録者数) 4900 人以上*
ARIB から岡野常務理事、横山研究開発本部次長、渡部 ITS グループ担当部長が参加
- ・セッション数 122*
- ・参加地域 44 ケ国・地域*
- ・出展団体数 134 団体以上* (*速報値)



Suzhou International Expo Center

10月16日（月）に開催された開会式では、主催者である中国交通運輸部公路科学研究院、江蘇省交通運輸庁、蘇州市政府および欧米アジア各地域の共催団体からの挨拶に続き、日本から総務省電波部長の荻原直彦氏から来賓挨拶がありました。

10月17日（火）に開催されたセッション SIS14 では、ITSF 国際対応専門委員会委員長の山本武志氏がモデレータを務め、「Current and Future spectrum Strategy for Cooperative Automated Vehicle」をテーマに講演が行なわれました。本セッションでは日米欧中の政府や関係団体からの登壇者が各地における V2X の検討や周波数割り当ての状況と今後について報告・議論を行いました。日本からは、総務省総合通信基盤局電波部新世代移動通信システム推進室の懸川寛史氏が総務省における 5.9GHz 帯 V2X に向けた検討状況や今後の課題などについて講演を行いました。



総務省 荻原氏



ITSF 山本氏



総務省 懸川氏

また、10月17日（火）に行われたセッション SIS11 では「National ITS Activities in Japan – Future Transport Society with DX」をテーマに講演が行われました。この中で、総務省新世代移動通信システム推進室長の増子喬紀氏が「MIC's Recent Activities on ITS」と題して、国内外における ITS に関する取り組みを紹介するとともに、5.9GHz 帯 V2X に向けた周波数割り当てと 5.9GHz 帯を利用したアプリケーションの開始時期の目標などについて講演を行いました。



総務省 増子氏

加えて、10月18日（水）に行われたプレナリセッション PL2 では「Future Mobility and Transport Industry Driven by Innovation」をテーマに講演が行われました。日本からは、荻原電波部長が動画で登壇し、「The future mobility of Japan with ITS communications」と題して、V2X に係る政府の目標設定や 5.9GHz 帯 V2X の実現時期などについて発表され、Audi やクアルコム、精華大学など他の Speaker から注目を集めていました。

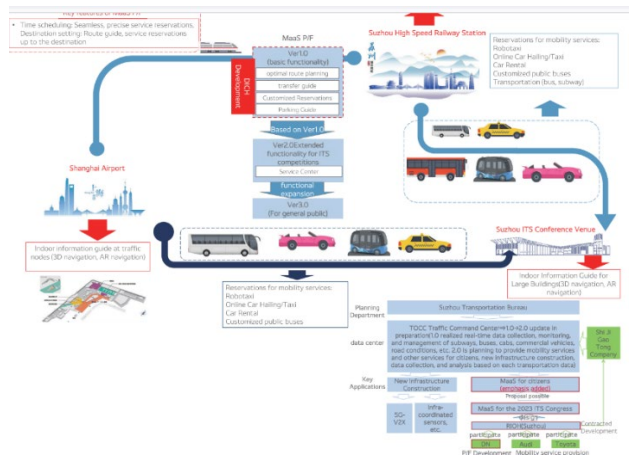
その他にも、日本からは自動車メーカーや Road to the L4 関係者などの講演がありました。

展示会場の中央奥に位置するジャパン・パビリオンでは、ITSF がブース展示を行いました。日本における電波利用状況とその標準化活動などを紹介するパネルを展示するとともに、これまでの成果をまとめたブックレットの配布を行いました。また、会場内のトヨタブースでは、数年ぶりとなる実車展示として、Pony.ai などとの連携による、中国における自動運転車両を展

示していました。また、世界会議会場と近隣の主要ホテルおよび高速鉄道の蘇州園区駅をつなぐ Robot Taxi について、デンソーブースおよび蘇州園区(SIP)ブースにてシステム構成および遠隔監視状況について展示が行われていました。その他、百度や万週科学などが V2X や交通マネジメントについて幅広い技術領域を対象として取り組みを紹介していました。



ITSF ブース



トヨタブースでの自動運転車両展示

ITS 世界会場と主要ホテル等を結ぶロボタクシー（デモ対象外サービス：中国電話番号所持者以外利用不可）とそのシステム構成（デンソー展示より）および監視システム（蘇州工業園区展示より）

最終日のクロージング・セレモニーでは、期間中の講演について優秀表彰が行われるとともに、次回の ITS World Congress は 2024 年 9 月 16 日（月）～20 日（金）にドバイで開催されることが報告され、5 日間にわたる会議を締め括りました。



恒例の「パッシング・グローブ」セレモニー

第 323 回技術委員会（放送分野）を開催

第 323 回技術委員会（放送分野）を開催しました。

- 1 日 時： 2023 年 10 月 25 日（水）15 時 30 分～16 時 25 分
- 2 場 所： 当会第 3 会議室（Web 会議併用）
- 3 議 題：
 - (1) 放送国際標準化ワーキンググループ活動報告について
 - (2) ITU-R SG6 の第 75 回工学・科学・技術エミー賞受賞について
 - (3) SET EXPO2023 について
 - (4) IBC2023 の概要について
 - (5) FoBTV Technical Committee 会合結果報告について
 - (6) ARIB-DVB 会合 結果報告について
 - (7) 第 121 回規格会議の結果について
 - (8) 各社からのトピックス
 - (9) その他

ARIB 内会合（10 月 30 日～11 月 3 日）予定

- | | |
|---|--------|
| 11 月 1 日（水）： デジタル放送システム開発部会 | Web 会議 |
| 11 月 1 日（水）： 第 39 回無線 LAN 作業班会合 | Web 会議 |
| 11 月 1 日（水）： 高度無線通信研究委員会 第 66 回モバイルパートナーシップ部会 | Web 会議 |

国際会合（10 月 30 日～11 月 3 日）予定

10 月 30 日（月）～31 日（火）： Global 5G Event#10@LG Science Park（韓国ソウル市）

陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集
－「気象レーダーの技術的条件」のうち「9.7GHz帯フェーズドアレイ
気象レーダー等に関する技術的条件」－

【令和5年10月20日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査:三次 仁 慶應義塾大学環境情報学部 教授）は、平成29年9月27日付け諮問第2040号「気象レーダーの技術的条件」のうち「9.7GHz帯フェーズドアレイ気象レーダー等に関する技術的条件」について検討を行ってきました。

この度、陸上無線通信委員会報告（案）を取りまとめましたので、令和5年10月21日（土）から同年11月20日（月）までの間、意見を募集しています。

詳細については [【令和5年10月20日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp